

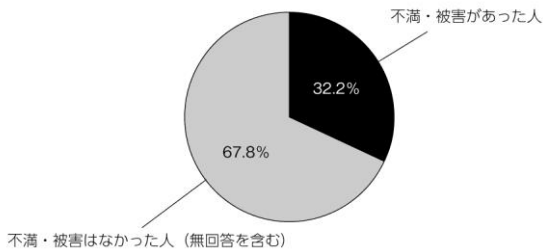
第5章 経済生活を営む

年 組 番

③ 自立した消費者として行動しよう

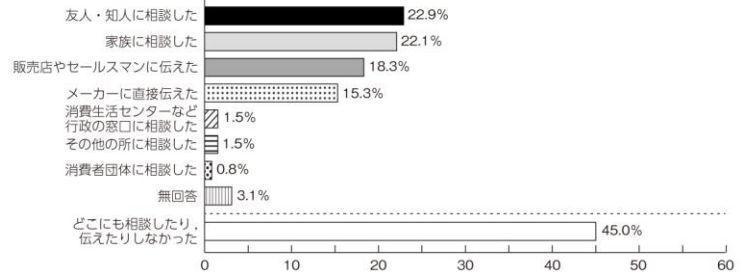
名前

1 消費者としての行動を考えよう。

①この1年間で商品・サービスに対する
不満・被害があった人の割合（20代）

(出典)消費者庁「もしあなたが消費者トラブルにあったら」

②不満・被害があった人は、どのような対応をとったか？（20代）



(1) ②のような結果は、どのようなことが考えられるだろうか。

(例) めんどうだから。解決の方法が分からない。解決できるとは思えない。

(2) 今後不満や被害を解決したいとき、あなたならどう行動するか。

(例) 企業に伝える。カスタマーサービスに連絡する。消費生活センターに相談する。

(3) (2) でのあなたの行動が与える影響を考えよう。

あなたにとっては？

- (例) ・ 補償を受けられる。
- ・ 消費者として、自立することができる。
 - ・ 自分の意見が反映される。

企業にとっては？

- (例) ・ 再発の防止
- ・ 商品やサービスの改善
 - ・ 早期解決への対策につながる。

2 新聞やインターネットから、消費者問題を読み取ろう。

気になる消費者に関わる情報を、新聞、インターネットで探してみよう。そこから分かる最近の消費者問題や行政の取り組みなどをまとめてみよう。また、クラスで情報の共有をして意見を出し合ってみよう。

●出所 新聞やサイト名など。日付も明記する。

(1) テーマ

見出しなどを書く。一文で概要が伝わる
ことがポイント。

(2) 問題とする内容や問題点

記事の内容を分かりやすくまとめて問
題点を明確にするのがポイント。

(3) 解決するためにできること

(例) 行政の動きや取り組みを調べてまと
める。また、自分や学校、地域で取
り組めることを考えてまとめる。

記事や資料添付欄